

2025 年 9 月 17 日
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社ホンダ・レーシング
京都鉄道博物館

「レーシング&レールウェイ ヒストリー」 イベント開催のお知らせ

西日本旅客鉄道株式会社(本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：倉坂昇治、以下 JR 西日本)と株式会社ホンダ・レーシング(本社：埼玉県朝霞市、代表取締役社長：渡辺康治)は、京都鉄道博物館(所在地：京都府京都市、館長：松岡俊宏)と連携し、歴史的・技術的に共通点のある FIA^{※1}フォーミュラ・ワン世界選手権(以下、F1)参戦マシンを主としたレーシングカーと、SL や新幹線などの鉄道車両を各々の特徴に合わせて並べて展示するイベント「レーシング&レールウェイ ヒストリー」を開催します。鉄道と F1 という異なるモビリティに共通する、最先端技術や歴史的意義をわかりやすくお見せします。また、関連イベントとしてモータースポーツ体験や、元 F1 ドライバー含むプロ・ドライバーによるトークショー等も開催し、鉄道とレーシングカーの魅力を一緒に楽しんでいただけるイベントを目指します。

※株式会社ホンダ・レーシングのリリースと同内容となります。



＜開催期間＞ 2025 年 10 月 23 日(木)～12 月 21 日(日)
＜開催場所＞ 京都鉄道博物館 本館1Fほか

[イベント内容は次ページへ](#)

■F1マシン&鉄道車両 並列展示①

【開催期間】10月23日(木)～11月16日(日) 【開催場所】本館1Fほか

※Honda RA271 は本館入口付近、O系新幹線電車はプロムナードでの展示です。

世界最速への挑戦 ～「Honda RA271」&「O系新幹線電車」

1964年8月2日、世界一速いドライバーとマシンが競い合う F1 世界選手権に日本勢として初めて参戦した「Honda RA271」。対して 1964 年 10 月 1 日、当時世界最速の営業運転を行った、「O 系新幹線電車」。1964 年デビューの同期車両を展示します。



Honda RA271
(1964 年製)



O 系新幹線電車
22 形 1 号車
(1964 年製)

姿勢制御への挑戦 ～「Lotus Honda 99T」&「500 系新幹線電車」

1987 年の F1 世界選手権で、アクティブサスペンション搭載車として初めて年間を通じて実戦に投入された「Lotus Honda 99T」。対して 1997 年に鉄道用車両として世界で初めてアクティブサスペンションを搭載し運行開始した 500 系新幹線電車。それぞれの分野で画期的なアクティブサスペンションを搭載した両車を並べて展示します。



Lotus Honda 99T
(1987 年製)



500 系新幹線電車
521 形 1 号車
(1996 年製)

■F1マシン&鉄道車両 並列展示②

【開催期間】11月17日(月)～12月21日(日) 【開催場所】本館1F

日本製にこだわった車両たち ～「Honda RA107」&「230 形蒸気機関車」

2007 年の F1 世界選手権にシャシー・エンジン・タイヤが「日本製」として参戦した「Honda RA107」。対して 1903 年に国産初の量産型蒸気機関車として登場し、国の重要文化財にも指定されている「230 形蒸気機関車」。「日本製」にこだわった両車を並べて展示します。



Honda RA107
(2007 年製)



230 形蒸気機関車
233 号機
(1902 年製)

時代の先駆けとなった車両たち ～「McLaren Honda MP4/4」&「100 系新幹線電車」

1980 年代の F1 世界選手権を席巻したターボエンジンは、安全性や環境面への配慮から規定変更が行われ、パワー一辺倒の開発から効率が求められるようになりました。今の時代にも通ずる高効率 F1 マシンの先駆けとなり、チャンピオンを獲得した「McLaren Honda MP4/4」。対して、新幹線の速度向上の先駆けとなり、「グランドひかり」として車内の快適性とサービスに新たな価値を提供した 100 系新幹線電車を並べて展示します。



McLaren Honda
MP4/4
(1988 年製)



100 系新幹線電車
122 形 5003 号車
(1989 年製)

■モータースポーツ体験イベント

【開催日】11月15日(土)、16日(日) ※各日ともに内容は同じです。

・レーシングマシン乗車体験

Modulo Epson NSX-GT (SUPER GT 参戦車両)、McLaren Honda MP4/5 (F1 参戦車両)、CBR1000RR-R FIREBLADE SP (鈴鹿 8 時間耐久ロードレース参戦車)、HRC 2 輪市販レース車両を展示し、コックピットに乗車していただけます(CBR1000RR-R を除く)。ドライバー／ライダーになった気分でご撮影をお楽しみください。

- 【受付時間】 10:00～16:00 ※状況により早めに受付を終了する場合があります。
【開催場所】 扇形車庫
【参加料】 無料 ※要入館料
【対象年齢】 Modulo Epson NSX-GT: 全年齢
McLaren Honda MP4/5、HRC 2 輪市販レース車: 小学生以下のお子さま



Modulo Epson NSX-GT



McLaren Honda MP4/5



HRC 2 輪市販レース車



CBR1000RR-R FIREBLADE SP
※乗車いただくことはできません。

・レーシングドライバートークショー

現役のレーシングドライバー野尻智紀選手と岩佐歩夢選手、また、NAKAJIMA RACING 総監督の中嶋悟氏を招いてトークショーを行います。

- 【開催時間】 ①11:30～ ②14:30～ (各回 40 分程度)
【開催場所】 扇形車庫内 特設ステージ ※立席となります。
【参加料】 無料 ※要入館料
【登壇者】 ①野尻智紀選手、岩佐歩夢選手 (ともに TEAM MUGEN 所属)
②中嶋悟総監督 (元 F1 ドライバー／NAKAJIMA RACING 総監督)



野尻 智紀選手
1989 年 9 月 15 日生まれ。2008 年に鈴鹿サーキットレーシングスクール・フォーミュラ (SRS-F) を首席で卒業。2014 年より SUPER GT、スーパーフォーミュラ (SF) に参戦。21 年、22 年 SF チャンピオン



岩佐歩夢選手
2001 年 9 月 22 日生まれ。2020 年、ホンダ・フォーミュラ・ドリーム・プロジェクト (HFDP) メンバーとして F4 選手権に参戦、チャンピオン獲得。翌年、レッドブルジュニアに加入。現在 F1 の Visa Cash App Racing Bulls F1 Team のリザーブ兼シミュレータードライバーを勤めながら SF に参戦中



中嶋悟総監督
1953 年 2 月 23 日生まれ。1987 年日本初の F1 フル参戦ドライバーとして、Lotus Honda よりデビュー。1991 年に引退後 NAKAJIMA RACING 総監督として日本のレースシーンで数々のスタードライバーを育てる。



★イベントの MC には、F1、SUPER GT やスーパーフォーミュラなどのモータースポーツ実況でお馴染み、フリーアナウンサーのピエール北川氏を起用！

・特別写真撮影会

本館 1 F に展示している Lotus Honda 99T と中嶋悟総監督の 2 ショット写真撮影会を行います。

- 【開催時刻】 15:15～15:45
【開催場所】 本館 1 F 3 車両前
【参加料】 無料 ※要入館料
【登壇者】 中嶋悟総監督 (元 F1 ドライバー、NAKAJIMA RACING 総監督)

12 月 20 日(土)、21 日(日)にもドライバートークショー等のイベントを企画中！
詳細が決まり次第お知らせします。

○京都鉄道博物館とは

2016年4月29日、大阪市にあった「交通科学博物館」と、京都市にあった「梅小路蒸気機関車館」を統合・発展させて開業。伝統を重んじながらも常に革新を続ける京都の地で、鉄道の歴史を通して日本の近代化のあゆみを体感していただける鉄道専門の博物館です。基本コンセプトは「地域と歩む鉄道文化拠点」。「鉄道を基軸とした事業活動を通じた地域の活性化に貢献する」という基本ミッションを掲げ、地域との共生を目指します。また、近年は他社とコラボレーションし、鉄道関連のバス事業者が運行する車両の展示や、タクシーを展示するなど、鉄道にとどまらないイベントを積極的に開催しています。

○運営主体	設置	：西日本旅客鉄道株式会社	運営	：公益財団法人交通文化振興財団
○施設概要	所在地	：京都市下京区観喜寺町		
	建物構成	：エントランスホール、プロムナード、本館（3階建） トワイライトプラザ、扇形車庫、旧二条駅舎		
	面積	：約31,000㎡		
	収蔵車両数	：蒸気機関車23両、電気機関車5両、ディーゼル機関車2両、新幹線6両、電車6両 気動車1両、客車9両、貨車2両	合計	54両

SLスチーム号 開館日に運行！

本物の蒸気機関車が牽引する客車に乗車できる人気の体験展示です。

【運行時間】 11時～16時の間で、概ね30～90分に1本運行

※詳しい時刻は、当館HPまたはインフォメーションにて

【開催場所】 SLスチーム号のりば

【乗車料金】 大人(高校生以上):300円、子ども(3歳～中学生):100円

※要入館料 ※乗車券はSLのりばの券売機でお求めください。



○株式会社ホンダ・レーシング(HRC)とは

モビリティメーカーであるHondaのレース子会社として1982年に設立。FIM^{※2}ロードレース世界選手権、世界トライアル選手権、モトクロス、ダカールラリーなど様々な二輪レースで頂点を極めてきました。2022年からは四輪レース開発部門もHRCに合流、F1パワーユニット開発、SUPER GT車両、SUPER FORMULAエンジンなどの開発もHRCで行われています。

OFIA^{※1}F1世界選手権とは

1950年にイギリスのシルバーストーンサーキットで最初のレースが行われたシングルシーター(1人乗り)の自動車レースです。世界選手権の名の通り、世界各国でレースが行われています。自動車レースの頂点であり、世界最高のマシンとドライバーによって競われています。現在まで途切れることなく開催されており、2025年は10チーム、20人のドライバーが参戦し、全24戦が開催されています。各レースの順位によって与えられるポイントの合計で年間勝者が決められ、ドライバーとチームのそれぞれに賞が与えられます。

Formula(フォーミュラ)は規定を表しています。1はその頂点カテゴリーを表します。参加車両が準拠しなければならない厳格な規定(レギュレーション)に則って行われる自動車競技の最高峰であることを意味しています。

※1 FIAとは、Fédération Internationale de l'Automobile(国際自動車連盟)の略称

※2 FIMとは、Fédération Internationale de Motocyclisme(国際モーターサイクリズム連盟)の略称